

1 事業の名称	若鮎プロジェクト事業		事業費	453	千円
2 事業の概要	<p>○自信と誇りをもって社会へ送り出すための教育の推進</p> <p>①自己実現の意識醸成のための上級学校・企業訪問（1学年生徒全員がバス5台で大学・短大・専門学校・企業を訪問する）</p> <p>②勤労観・職業観・人間関係形成能力育成のための就業体験（2学年就職希望者全員が約80か所の企業で就業体験を行う）</p> <p>○KCレンジャー養成プロジェクトの推進</p> <p>③将来のスペシャリスト養成のための難関検定対策ゼミ（希望生徒が外部の専門講師による難関検定試験受験の対策ゼミを受講する）</p>				
決算内訳	(別表のとおり)				
3 事業の成果	<p>○自信と誇りをもって社会へ送り出すための教育の推進</p> <p>①自己実現の意識醸成のための上級学校・企業訪問</p> <p>1学年生徒全員が希望する5コースに分かれて①足利工業大学・佐野短期大学、②平成国際大学・東京IT会計法律専門学校大宮校、③宇都宮共和大学・大原学園宇都宮校、④つくば学院大学・つくばビジネスカレッジ専門学校、⑤常磐大学・短期大学・八文字学園をバス5台で見学・研修した。生徒たちは見学先で担当者から説明や案内を受けるだけでなく、様々な模擬体験なども行い進路についての認識を深めた。</p> <p>②勤労観・職業観・人間関係形成能力育成のための就業体験</p> <p>「自信と誇りをもって社会へ送り出すための教育の推進」として、2学年就職希望生徒83名が勤労観・職業観・人間関係形成能力育成のための就業体験を29か所の企業で行った。就業体験先企業を割り振るにあたっては、これまでの実績や経験を踏まえて、できる限り生徒の希望職種に合わせるよう心掛けた。事業の成果としては、多くの生徒が職業を持つにあたっての責任の重さを実感したことが上げられる。自分が一生懸命に取り組み、責任を果たそうとする際にどうしてもぶつかる困難を乗り越えなければならない時に、事業所の方々からいただいた適切なアドバイスは何よりもありがたく感じられたようである。また、責任を果たすためにも、職業選択の際には情報収集に時間をかけ熟慮の上に決断をすることが大切であることも学んだものと思われる。本校生徒の勤務態度が良好であったことから、2事業所から求人依頼をいただくことができたことも大きな収穫であった。</p> <p>○KCレンジャー養成プロジェクトの推進</p> <p>③将来のスペシャリスト養成のための難関検定対策ゼミ</p> <p>「日商簿記検定2級」と「ITパスポート」の資格取得希望者に対して、外部講師による講座を開講した。その結果、「日商簿記検定2級」で2名、「ITパスポート」については3名の合格者を出すことができた。また、ITパスポートは、春季休業中に更に39名が受験予定である。</p>				
4-1 目標達成度 (設定目標値への達成状況)	A	A (81%以上の達成状況) B (60%~80%の範囲内の達成状況) C (50%程度の達成状況) D (30%以下の達成状況)			
4-2 目標達成度の根拠	<p>①訪問先での様々な説明や体験を通して、大学・短大・専門学校での学習内容やそれぞれの特徴や違いを具体的に知ることができ、自分のなりたい職業に就くためには何が必要なのかということを考えさせる契機となった。</p> <p>②報告書を通して、参加者83名全員が就業体験を行い有益な体験ができたことと記述していた。職業選択の際には自分に向いている仕事なのかどうかを十分に見極めることが必要だと実感したと記述した生徒も多数いたことから、望ましい勤労観・職業観を育成するという目標を達成することにも大いに役立ったと考えられる。また、保護者や教員以外の大人と直接触れ合うことによる緊張感から、コミュニケーション能力を鍛えられたと記述した生徒も多数いたことにより、人間関係形成能力育成にも大いに貢献したと考えられる。</p> <p>③難関検定試験の対策ゼミを開講することで、生徒に「日商簿記検定2級」「ITパスポート」という高度な内容の学習を提供することができ、より高い目標をもちそれに向かって努力させる契機とすることができた。</p>				
5 生徒の感想・意見 (簡条書きで簡潔に記入)	<p>進路体験ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の設備のすごさに圧倒されました。PCやAV機器が充実していて、先生が目の前で自分に向けて説明してくれているようで、とても驚きました。 ・大学や専門学校に行きました。大原では、医療事務を体験しました。受付のやり方を学びました。体験ができたのは良かったです。大学も専門学校もそれぞれの魅力がありました。この体験をもとに進路先を決めていきたいです。とてもためになりました。 <p>インターンシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とにかく子供たちがかわいくて、あつという間の2日間でした。楽しく実習できましたが、たくさんの子供たちを預かって面倒をみるということは、とても大変なことなんだということがわかりました。 ・製造の仕事を初めて体験しましたが、とても大変でした。でも、働いている方々は、誇りとやり甲斐をもって仕事をされていることを知り、自分も何事にも頑張ろうと感じました。 <p>難関検定対策ゼミ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて日商簿記検定を受けましたが、受けてみて自分の勉強不足をすごく実感しました。 				

<p>6 担当者の意見 (箇条書きで簡潔に記入)</p>	<p>進路体験ツアー ・1年生ということもあり、まだ進路が明確でない中、漠然と「就職」・「進学」とイメージしていた生徒たちにとって、大学・専門学校を見たことによって、自分のなりたい職業に就くためには、何が必要かと言うことを考えさせる契機になった。 ・大学と専門学校の両方を見学・体験したことで、それぞれの魅力や学習内容について比較検討することができた。そこから自分にはどちらの学校が向いているか考える一助となった。 ・狭い生活圏内で行動している生徒たちにとって、遠方の学校を見学したことで視野が広まり、新しい価値観を持ち、行動半径を広げようと思わせる契機となった。</p> <p>インターンシップ ・以前は2学年生徒全員で実施したこともあったが、与えられた体験となるためか、意欲の低い生徒に就業体験させることの弊害も見受けられた。今回は就職を希望する生徒全員を対象としたことで事前指導も充実し、自分たちの実習態度が次年度の求人にも影響してくる等の指導を行い、生徒は真剣に実習を行うことができた。</p> <p>難関検定試験対策ゼミ ・大変わかりやすい説明で、教科指導をする上で参考になった。 ・今年度は受験者数を増やすことができたので、受験日まで更に学習を継続させることで多くの生徒を「エエパソ」に合格させた。</p>	
<p>7 成果の公開方法</p>	<p>2</p>	<p>1 (学校のwebページ) 2 (冊子等の印刷物) 3 (教育委員会ツイッター、いばキラTV) 4 (その他及び複数の方法で公開)</p>
	<p>1</p>	<p>1 広報に当たって新たな工夫を取り入れた 2 広報に当たって特に新たな工夫は取り入れていない</p>
	<p>(上記の具体的な方法…いつ、どこで、誰が(担当者名等)、どのように広報したのかを具体的に記入すること) ・インターンシップ終了後に、各事業所に巡回するように割り当てられた教員が、生徒の就業の様子を写真や報告書に記録し、情報管理部担当者が学校のHPにまとめて公開した。また、教務部員が作成する学校便り(小・中学校・学習塾・本校生が就職した企業向けに年3回発行予定)に就業体験の記事を掲載し地域に向けて本校の教育活動を発信した。</p>	
<p>8 その他の記述</p>		